

しっかりと、まちづくりを見学！

～春の市民見学会～

5月26日(水)・27日(木)・29日(土)の3日間、『市民見学会』が行われました。

この市民見学会は、市民にもっとまちづくりの様子を知ってもらい、市政への理解を深めてもらおうと、市が毎年春と秋に開いているもので、今回の見学会には79人が参加しました。

見学施設は、ふおれすと鉱山、クリンクルセンター、特別養護老人ホーム『緑風園』などのほか、オープン間近の市民プールも見学。市民プールでは「施設がすばらしく、泳げないけど利用します」「想像していたよりも、ずっと立派でした」などの声が聞かれました。

また、クリンクルセンターでは、分別作業などを見学して、参加者はあらためてごみの出し方や分別の大切さを認識していました。



▲新市民プールの見学



◀空き缶の分別作業を見学する参加者のみなさん（クリンクルセンター）



▲流鏝馬体験



▶駕籠体験

武家時代の生活を体験

～わんぱくサムライ体験～

5月22日(土)、郷土資料館と文化伝承館で『わんぱくサムライ体験～武士の世界と和の心～』が開かれ、420人の家族連れでにぎわいました。

この催しは、子どもたちに武士の世界や日本の伝統文化を体験してもらおうと、郷土資料館ボランティアグループ『SLG』をはじめ、ときめき大学、登別市文化協会茶道部、登別伊達時代村、スポーツチャンバラ協会登別支部の協力により、毎年この時期に行われている人気行事のひとつです。

会場では、木馬にまたがって矢的の的を射る流鏝馬や駕籠、茶道、チャンバラなどの体験コーナーが設けられたほか、せんべい焼き、すいとんの試食も行われ、参加者は春の一日を楽しみました。

新エネルギーの可能性を学びました

～新エネルギー教室～

5月24日(月)、鷺別小学校で『平成16年度新エネルギー教室』が開かれ、4年生38人が受講しました。

この教室は、北海道経済産業局、新エネルギー財団、開催地の自治体などが主催し、平成16年度道内30市町村で開催を予定しているもので、今回が今年度最初の取り組みです。

教室では、漫才コンビ『ダムダムダン』が講師を務め、スライドやビデオを使って石油に代わる太陽光や風力発電などの新エネルギーについて説明。軽妙な進行に教室は笑顔が絶えず、子どもたちも積極的に手を挙げて答えました。最後に行われたミニチュアのソーラーカーづくりでは、実際に走る模型にみんな大喜び。子どもたちは、楽しみながら、環境問題や新エネルギーへの理解を深めていました。



▲ミニチュアのソーラーカーづくり